土木史および土木技術者倫理

土木技術者倫理
事例研究
発表方式

平成２４年度

東京工業大学
川島一彦

ロールプレー

●役割分担

✓（1）Aゼネコン I作業所長、（2）K建設社長、（3）作業員Mさん、（4）国民

●検討のポイント

◆I作業所長、K建設社長

✓本来はどのように対応すべきか

✓ことの重大性をどういう順番に分析していくべきか

✓土木学会倫理規定にどのように抵触するか？

◆Mさん：後遺症が残った場合に、どういう対応をとる可能性があるか？　どのようにこの事故を見るか？

◆国民

✓国民として、どのように対応すべきと考えるか？

ロールプレー

- 役割分担
  - ✓M君
  - ✓A主任
  - ✓発注者P課長
  - ✓国民
- 検討のポイント（M君、A主任、P課長）
  - ✓どのように対応すべきか？
  - ✓ことの重大性をどういう順番に分析していけばよいのだろう
  - ✓土木学会倫理規定にどのように抵触するか？
- 検討のポイント（国民）
  - ✓この事件は国民からはどのように見えるか？
  - ✓国民から見ると、どのように対応すべきと考えるか？

発表方法

●1グループ40分で発表、質疑、入れ替え

●各グループに4班あるため、各班7分（1グループ28分）で発表

●発表は各班、全員で行うこと。全員はどこかを発表すること。

●全員参加が大原則です。ＰＰＴ作成に加わっただけでは、発表と見なしません。やむを得ない事情がある場合には、事前あるいは事後に川島まで連絡すること。

●発表はＰＰＴを用いて行うこと。

●ＰＰＴには表紙を付け、課題、班、参加者を示すこと。